

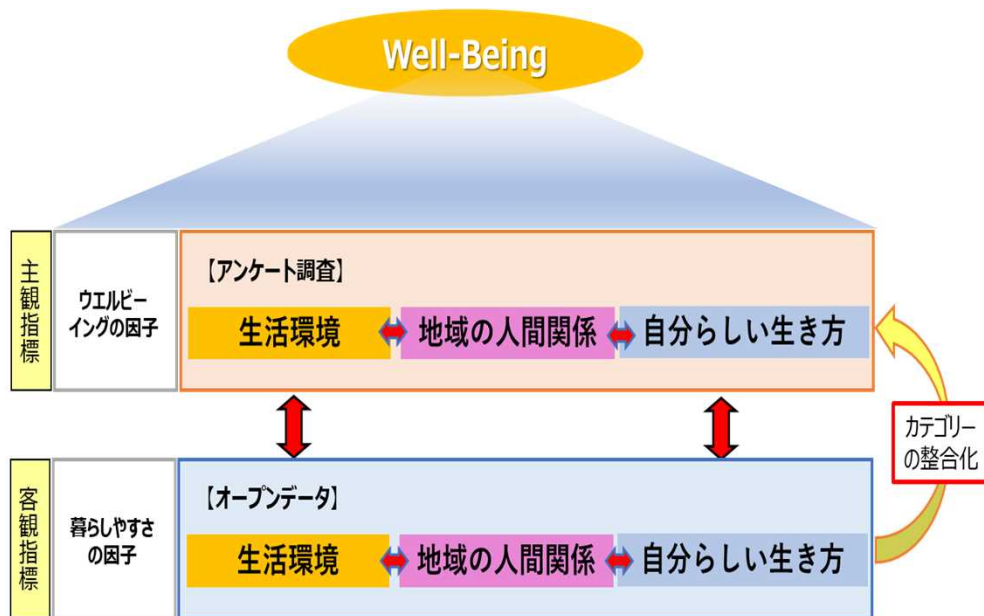
Well-Beingアンケートでの認証

地域幸福度（Well-Being）指標の概要

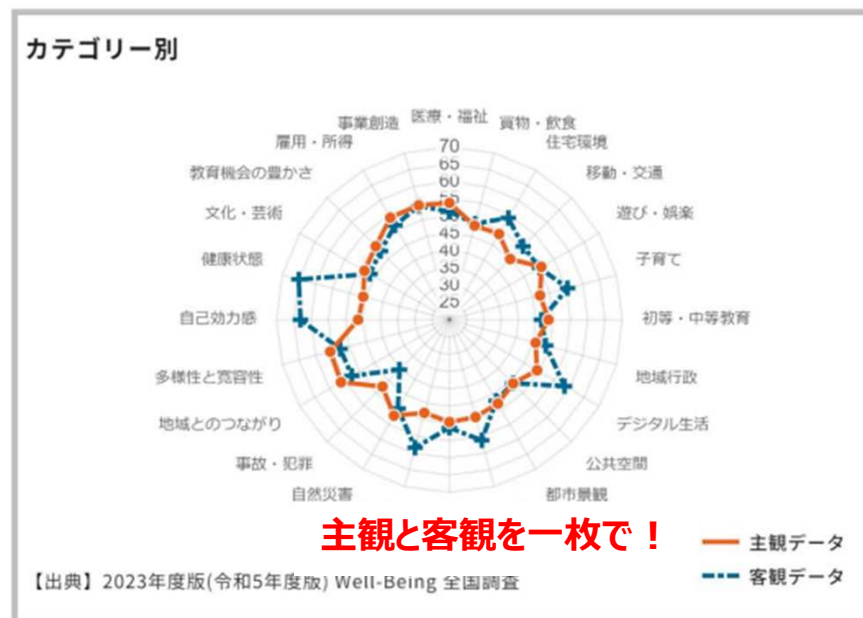
- 各種統計データを指標化し、分野間などの比較に用いる**客観指標**と、市民等へのアンケート調査結果を指標化し、時系列での比較に強い**主観指標**から構成。
- 指標の計測結果はレーダーチャートの形で表示し、それぞれの街の多様な性格を視覚的に表示。エリア間の比較が目的ではないため、**ランキング付けなどは行わない**。
- 基本的なデータやアンケート調査票など、指標の分析に必要となる基本的なツールはデジタル庁から提供。
<https://well-being.digital.go.jp/>
- 令和3年度補正Type2/3採択団体から活用を開始し、本年度も引き続き活用を推進。



○地域幸福度（Well-Being）指標の構成要素



○指標の活用イメージ（レーダーチャート）

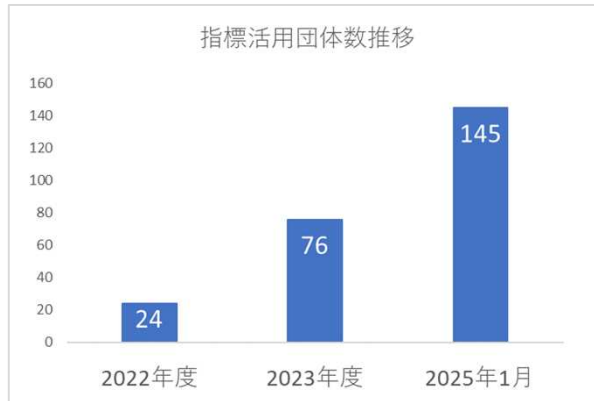


都道府県別Well-Being指標活用団体

2025年1月31日現在

- 地域幸福度（Well-Being）指標活用団体はType2/3採択団体以外の団体にも拡大。

【都道府県別活用団体数】



【活用自治体145団体】

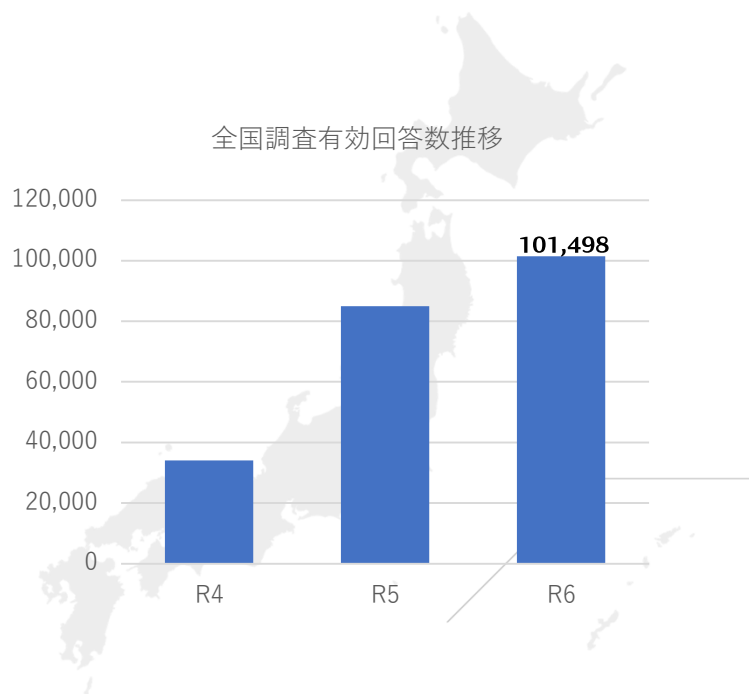
都道府県	数	活用団体（黒字：Type2/3採択団体、青字：Type2/3採択団体以外）
北海道	8	札幌市 江別市 更別村 函館市 芦別市 富良野市 厚真町 浦幌町
青森県	2	むつ市 青森市
岩手県	1	岩手町
宮城県	3	仙台市 角田市 丸森町
山形県	1	遊佐町
福島県	8	福島県 会津若松市 矢吹町 郡山市 田村市 西会津町 平田村 三春町
茨城県	3	境町 龍ヶ崎町 東海村
栃木県	2	那須塩原市 芳賀町
群馬県	1	前橋市
埼玉県	4	熊谷市 秩父市 横瀬町 三芳町
千葉県	3	千葉市 市原市 横芝光町
東京都	9	東村山市 狛江市 東京都 品川区 渋谷区（スマートシティ推進機構） 世田谷区 調布市 国立市 新島村
神奈川県	3	横浜市 小田原市 鎌倉市
新潟県	1	聖籠町
富山県	2	朝日町 黒部市
石川県	6	石川県 能美市 金沢市 小松市 加賀市 白山市
福井県	1	大野市
山梨県	3	山梨県 山梨市 忍野村
長野県	4	茅野市 長野県 松川町 塩尻市
岐阜県	6	岐阜県 岐阜市 養老町 土岐市 瑞穂市 神戸町
静岡県	8	浜松市 三島市 焼津市 静岡県 静岡市 磐田市 御前崎市 菊川市
愛知県	2	蒲郡市 日進市
三重県	2	三重県 広域連携（多気町・大台町・明和町・度合町・紀北町） 御浜町
滋賀県	1	草津市
京都府	1	京都府 綾部市
大阪府	2	大阪府 豊能町
兵庫県	6	姫路市 加古川市 加西市 養父市 丹波市 猪名川町
奈良県	3	奈良県 香芝市 三郷町
和歌山県	3	橋本市 九度山町 那智勝浦町
鳥取県	2	鳥取県 日野町
島根県	2	安来市 飯南町
岡山県	7	津山市 備前市 西栗倉村 吉備中央町 井原市 総社市 真庭市
広島県	5	広島県 東広島市 尾道市 廿日市市 大崎上島町
山口県	3	下関市 山口市 山口県
徳島県	2	阿南市 那賀町
香川県	2	高松市 三豊市
愛媛県	3	愛媛県 西条市 上島町
高知県	3	室戸市 中土佐町 佐川町
福岡県	4	みやま市 粕屋町 水巻町 築上町
佐賀県	2	佐賀市 伊万里市
長崎県	2	大村市 佐世保市
熊本県	3	八代市 上天草市 湯前町
大分県	1	別府市
宮崎県	3	延岡市 木城町 都農町
沖縄県	2	浦添市 名護市

出所：デジタル庁資料及びスマートシティ・インスティテュート資料からデジタル庁が作成

地域幸福度（Well-Being）指標全国アンケート調査の継続実施・充実

- 本年度は令和5年度と同じ標準アンケート（50問）で全国調査を実施し、経年比較を可能とする。
- 調査はインターネット利用者を対象に実施し、サンプル数は昨年度の約8.5万人から10.1万人へ増加。
- サンプル数の少ない団体は分析が難しいという課題を踏まえ、調査設計は有効回答数が100以上確保出来る団体数を増やすことに配慮。
- 最新の集計結果は6月末を目途にリンク先からダウンロード可能→ <https://well-being.digital.go.jp/>

○全国調査サンプル数の推移



○R6アンケート調査設計

項目	調査概要
調査内容	100以上確保できる自治体の数を極大化するため、母集団構成比による回収は考慮せず、自治体の規模に応じて回答数の目標値を設定した調査 - 政令指定都市で最低1,000、東京23区で400、令和3～5年度補正デジType2/3/S採択自治体及びスーパーシティ・デジタル田園健康特区で400、その他自治体は100を回収目標として設定
調査手法	インターネット調査
対象地域	全国
対象者条件	18歳～89歳の男女
設計サンプル数 (回収目標数)	100,000
回収サンプル数 (有効回答数)	101,498
対象自治体数 (うち回答数100以上)	684団体（668団体）
設問数	51問（必須50問＋オプション設問1問）
調査期間	2024年5月14日（火）～2024年5月20日（月）

現在、あなたは どの程度幸せですか？

「とても幸せ」を10点、
「とても不幸」を 0点とすると、
何点くらいになると思いますか？

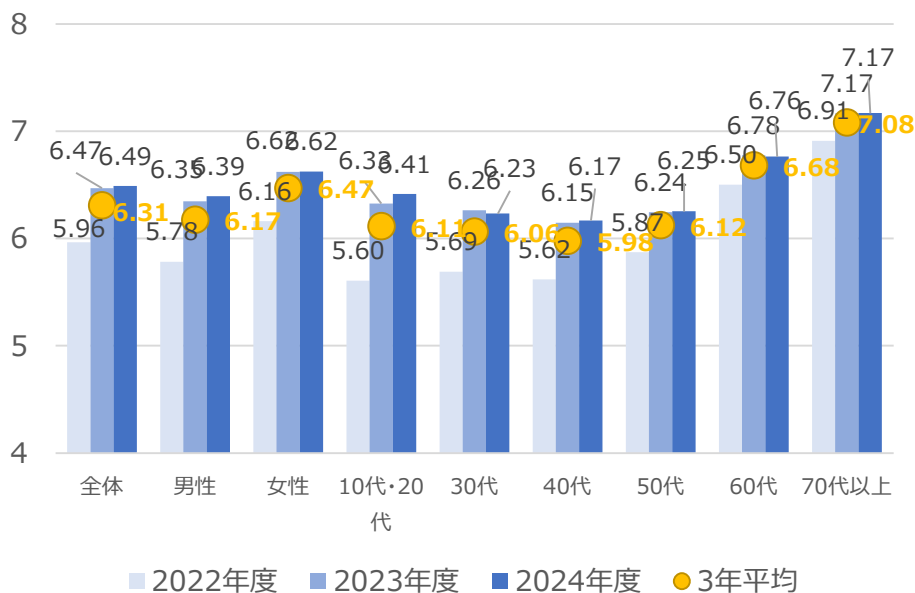


幸福度・生活満足度の経年比較

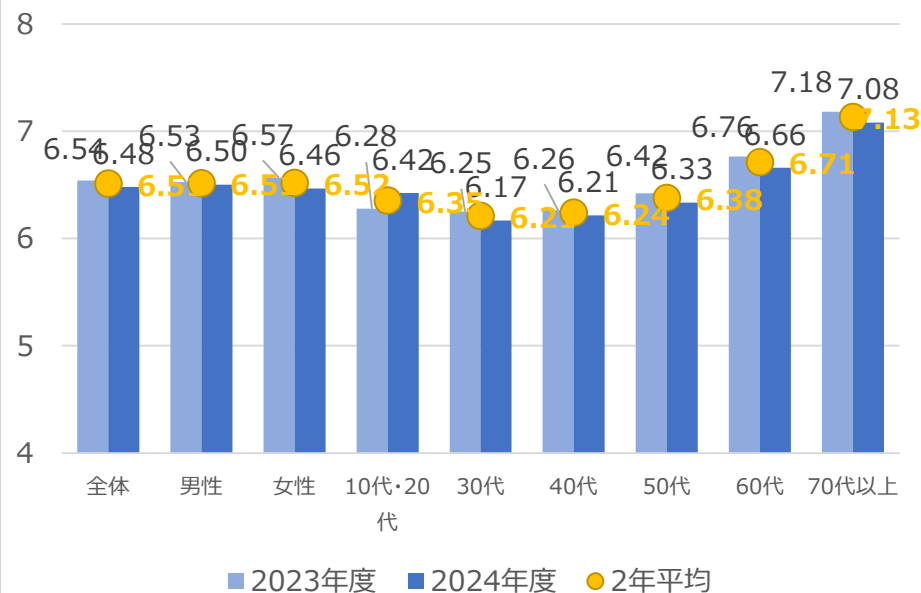
個人の主観に関する質問「幸福度」＝ 現在、あなたはどの程度幸せですか？、「生活満足度」＝ 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか？「とても幸せ/満足」を 10 点、「とても不幸/不満」を0点とすると、何点くらいになると思いますか？

■ 2022年度とそれ以降ではアンケート調査会社が異なるため絶対値に多少ズレがあるものの、傾向は変わらない

幸福度分布の経年比較（セグメント別）



生活満足度分布の経年比較（セグメント別）



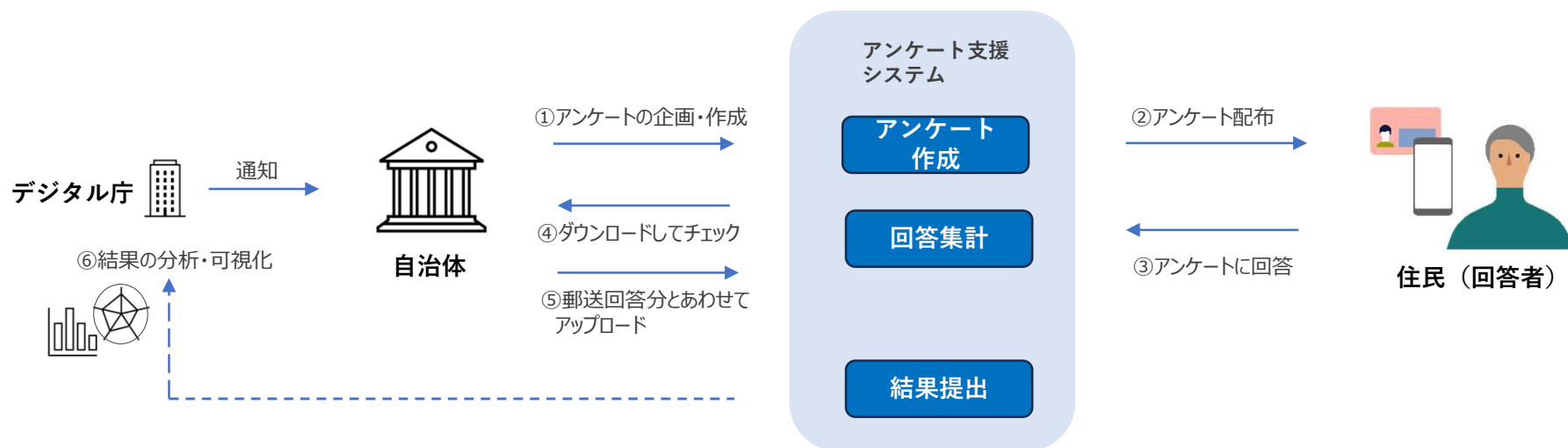
サンプル数	男性	女性	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
2022年度	17,421	16,189	5,101	5,612	7,153	6,664	5,112	3,968	33,610
2023年度	46,133	38,437	3,275	7,989	18,333	24,846	19,740	10,782	84,965
2024年度	56,859	44,138	2,766	8,254	20,565	30,610	25,939	13,364	101,498

* 2022年度の生活満足度は1～5の5件法であったため、グラフから除外

自治体アンケート調査支援システムのリリース

- 自治体の地域幸福度（Well-Being）指標アンケート実施を支援するためのアンケート機能をWell-Being指標サイトに追加し、自治体のアンケート実施を支援する。共通サービスの提供により、アンケート業務における自治体の作業負担及び実施コスト削減並びに回答する住民の負担を軽減する。あわせて自治体の選択により一人一票であることを正しく確認し、公平性を保つ機能を活用することも可能とする。
- Well-Being標準アンケート（50問）に加え、自治体の独自設問も設定可能。
- 令和6年10月15日リリース。11月からLGWAN接続を実現。

【自治体アンケート調査支援システム】



- 自治体は、デジタル庁が事前に用意した標準アンケートを使用することで簡単にアンケートを実施することができます。
- 住民（回答者）は、スマートフォンなどからいつでも、どこからでも回答できます。
- 自治体・デジタル庁ともに回答者の回答は特定できません。

【実証実施団体の感想】

- このシステムでは設問がプリセットされており、設定が大幅に簡略化でき自治体としてアンケートを取るハードルが下がった。
- システムを利用することで各団体が取得するデータ項目の形式が揃うことになるので、自治体でデータを整形する等の事務をなくすことができ、非常に有意義なものだと感じている。
- アンケート画面等のUIは見やすく動作もスムーズで回答に違和感はなかった。継続的に改善していただけるとありがたい。市民からの悪いリアクションは受け取っていません。

デジタル庁
Digital Agency